

第4項 へき地の医療

1. 現状と課題

本県の無医地区は平成21年度から平成26年度までに2地区減少して20地区、準無医地区は増減なく2地区あります。また、無歯科医地区は平成21年度から4地区減少して18地区、準無歯科医地区は2地区増加し3地区あります（表1参照）。現在、無医地区及び無歯科医地区については、巡回診療が実施されておらず、地域住民の医療に関するニーズや実態の把握も十分ではありません。

【表1】県内の無医地区・無歯科医地区

医療圏	市町村	地区	無医地区・準無医地区		無歯科医地区・準無歯科医地区	
			平成21年度	平成26年度	平成21年度	平成26年度
阿蘇	高森町	津留・野尻				
		草部北部				
		芹口・下切・菅山				
		河原・尾下				
上益城	山都町	花上				
		橘				
		下山				
		菅				
		下矢部西部				
		内大臣目丸				
		御所				
木原谷						
八代	八代市	西の岩・葉木		×		×
		椋木				
		椎原				×
芦北	芦北町	永谷・黒岩				
		上原				
		高田辺・海路		×		
		西告・天月				
		塩浸・市野瀬・大野				
		丸山・百木				
		古石・高岡				
球磨	多良木町	槻木				
天草	上天草市	湯島				
	天草市	外平				
		椋の木				
		向辺田				
合計	無医地区数/無歯科医地区数		22	20	22	18
	準無医地区数/準無歯科医地区数		2	2	1	3

○：無医地区/無歯科医地区 △：準無医地区/準無歯科医地区 ×：平成21年度は該当していたが、平成26年度に非該当となった地区

（厚生労働省「無医地区等調査」、「無歯科医地区等調査」を基に熊本県医療政策課作成）

近年、へき地等の自治体病院において、医師の高齢化や突発的な退職など、安定的かつ継続的なへき地の医療（以下「へき地医療」という。）の提供に大きな支障を及ぼす事態が危惧されており、県全体でへき地医療を支える仕組みが求められています。

無医地区とは、原則として医療機関のない地域で、当該地区の中心的な場所を起点としておおむね半径4kmの区域内に50人以上が居住している地区であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区のことです。

準無医地区とは、無医地区ではないが、これに準じて医療の確保が必要と都道府県知事が判断し、厚生労働大臣に協議し適当と認めた地区のことです。

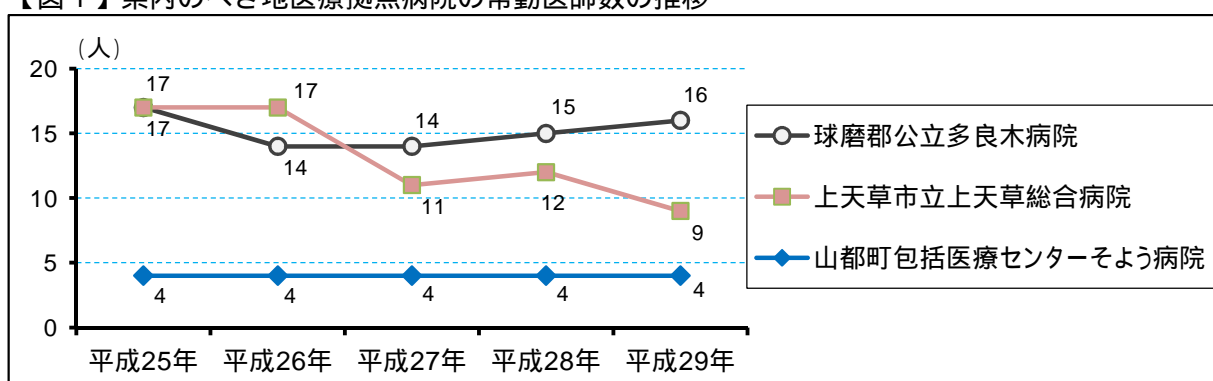
へき地とは、交通条件及び自然的、経済的、社会的条件に恵まれない山間地、離島その他の地域のうち医療の確保が困難であって、「無医地区」、「準無医地区」及び「へき地診療所」の要件に該当する地域のことです。

熊本県へき地医療支援機構では、専任担当官（医師）を配置し、社会医療法人等からへき地診療所への医師派遣調整などへき地医療支援事業の企画・調整を行っています。その運営について、より効果的に医師派遣調整を行うことが求められています。

本県では、山都町包括医療センターそよう病院、球磨郡公立多良木病院及び上天草市立上天草総合病院を平成15年4月にへき地医療拠点病院に指定して以来、へき地診療所への医師派遣や代診医派遣等の支援を継続的に行っています。

へき地医療拠点病院は、その主たる3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）のうち、巡回診療については未実施であり、医師派遣及び代診医派遣については常勤医師が減少（図1参照）しているなどの事情により、近隣の医療機関への派遣に留まるなど限定的な状況です。

【図1】県内のへき地医療拠点病院の常勤医師数の推移



（熊本県医療政策課調査（各年7月1日現在））

県内には、へき地診療所が17か所（うち1か所は休止中）、へき地歯科診療所が1か所ありますが、医師、歯科医師、看護師等の人員体制が小規模であり、また、へき地診療所の約7割が赤字経営であるなど、運営が不安定な状況です。

平成30年度から開始される新たな専門医制度では、総合診療専門医が19の基本領域の専門医の一つとして位置付けられました。へき地等では患者の年齢・性別や疾病・傷病等にとらわれず、適切な初期対応と継続的な診療ができる総合診療専門医の需要が高まっています。

へき地では、熊本市内などの高次医療機関までの搬送に時間を要するため、ドクターヘリと県防災消防ヘリ「ひばり」の2機を活用した「熊本型」ヘリ救急搬送体制の構築等により、迅速な救急搬送を行っています。

へき地医療支援機構とは、へき地保健医療政策の中心的機関として、へき地診療所等への医師派遣調整等へき地医療支援事業の企画・調整等を行うため都道府県に設置されるものです。

社会医療法人とは、地域住民にとって不可欠な救急医療等確保事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）を担う公益性の高い医療法人として都道府県知事が認定した法人のことで、

へき地診療所とは、おおむね半径4kmの区域内に他に医療機関がなく、その区域内の人口が原則として人口1,000人以上であり、かつ、当該診療所から最寄りの医療機関まで通常の交通機関を利用して30分以上要する診療所のことで、

へき地医療拠点病院とは、無医地区等において、へき地医療支援機構の指導・調整の下に、巡回診療、へき地診療所等への医師派遣や代診医派遣等の実績を有する（又は当該年度に実施可能）と認められ、都道府県が指定する病院のことで、

代診医派遣とは、医療機関に勤務する医師が急病や忌引き、研修その他やむを得ない事情により休診する際に、その医師に代わって診療する医師を派遣することです。

新たな専門医制度とは、これまで各学会が独自に専門医を育成し、その能力を検証し、認証する仕組みを運用してきたため、第三者機関として設立された一般社団法人日本専門医機構が、専門医の認定と専門研修プログラムの認定を統一的に行う新たな制度のことで、

「熊本型」ヘリ救急搬送体制とは、ドクターヘリ（基地病院：熊本赤十字病院）と県防災消防ヘリの2機で役割分担と相互補完を行い、4つの三次救急医療機関が連携して患者を受け入れる体制です。

2. 目指す姿

行政機関、医療機関、社会医療法人等の関係機関の役割分担と相互の連携により、へき地を支える医療従事者を確保するとともに、へき地の診療を支援する体制を強化し、へき地に暮らす住民に継続して医療を提供できる体制を構築します。

3. 施策の方向性

無医地区・無歯科医地区における住民の医療の確保

- 無医地区・無歯科医地区における住民の医療を確保するため、市町村に地区住民の医療に関するニーズの把握やへき地医療拠点病院、医師会・歯科医師会等との連携を働きかけ、市町村による巡回診療や患者送迎など地区住民の意向を踏まえた医療の提供を支援します。

へき地医療支援機構の機能強化及び地域医療支援センターとの連携強化

- へき地医療に従事する医師を確保するため、へき地医療支援機構によるへき地医療拠点病院や社会医療法人等からへき地診療所への医師の派遣調整を行います。
- へき地診療所の医療機能を向上させるため、住民ニーズが高い診療科の確保や緊急に医師の確保が必要なへき地診療所に対し、へき地医療を業務とする社会医療法人（認定を目指す法人を含む。）のへき地医療支援病院等からの医師派遣の調整を行います。
- へき地を含む地域の医療を県全体で支えるため、へき地医療支援機構等が運営の主体となり、県と協定を締結した医療機関から支援が必要な地域の医療機関に対して、医師を派遣するドクタープール制度を新たに構築します（この項の最後に記載する別図参照）。
- 医師派遣調整業務をより効果的に行うため、へき地医療支援機構は、医師の地域偏在の解消に取り組む地域医療支援センター（熊本県地域医療支援機構）との統合も視野に入れた更なる緊密な連携を進め、総合的な企画・調整機能を強化します。

へき地医療拠点病院の機能強化・拡充

- へき地医療拠点病院の機能を強化するため、熊本市内等の大規模病院から医師派遣の支援を受けたへき地医療拠点病院がへき地診療所等に必要な医師の派遣を行うなど、へき地医療拠点病院を中核として県全体でへき地医療を支援する体制を整備します。
- へき地医療を支える医療機関を増やすため、現在のへき地医療拠点病院が所在する地域のバランスや、へき地医療拠点病院以外の医療機関からへき地診療所への医師派遣の実績などを踏まえて、新たなへき地医療拠点病院を指定します。
- へき地医療拠点病院が主たる3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）を円滑に行えるよう、その運営を支援します。

へき地診療所の運営支援

- へき地診療所における安定的な医療を提供するため、設置主体の市町村にへき地医療拠点病院、医師会・歯科医師会、住民等と連携したへき地診療所の課題の共有や今後の

へき地医療支援病院とは、へき地診療所やへき地医療拠点病院に対する医師派遣等について一定の実績を有し、へき地医療を業務とする社会医療法人の認定を受けた病院、又は、認定を目指し、へき地医療の確保に関する事業の医療連携体制に係る医療提供施設として熊本県へき地保健医療対策に関する協議会において認められた病院のことです。

あり方についての協議を働きかけ、その協議を踏まえ、へき地診療所の計画的かつ効率的な運営を支援します。

へき地医療を支える医師の確保及び総合診療専門医の養成

- へき地医療を支える医師を確保するため、自治医科大学との連携や熊本大学等の医学部生への医師修学資金貸与制度を通じて、地域の実情や医師のキャリア形成を踏まえた自治医科大学卒業医師の派遣や修学資金貸与医師の配置を行います。
- へき地での活躍が期待される総合診療専門医を養成・確保するため、熊本大学に開設する地域医療・総合診療実践学寄附講座等において、地域医療に関する卒前からの継続的な教育、総合診療専門研修プログラムの作成、地域の医療機関への医師派遣による支援等を進めます。
- へき地医療等を担う医師を地域医療の現場で育成するため、熊本大学と連携し、地域医療実践教育拠点の拡充など総合診療専門医を教育・育成する環境づくりを支援します。
- 総合診療専門医の資格取得を促進し、へき地等での診療を支援するため、専攻医がへき地等の医療機関に勤務しながら、指導医等の助言・指導を受けることやカンファレンスの開催等が可能となる遠隔テレビ会議システムを整備します。
- 長年にわたりへき地医療の確保に貢献した功績をたたえ、へき地医療の重要性や魅力を広く周知するため、医師をはじめとする医療従事者や医療機関を対象とする県独自の表彰制度を創設します。

へき地の救急搬送体制の強化

- 増加する様々な救急搬送ニーズへ迅速に対応するため、関係機関や隣県等との連携により、多様な搬送手段の確保など救急搬送体制を強化します。

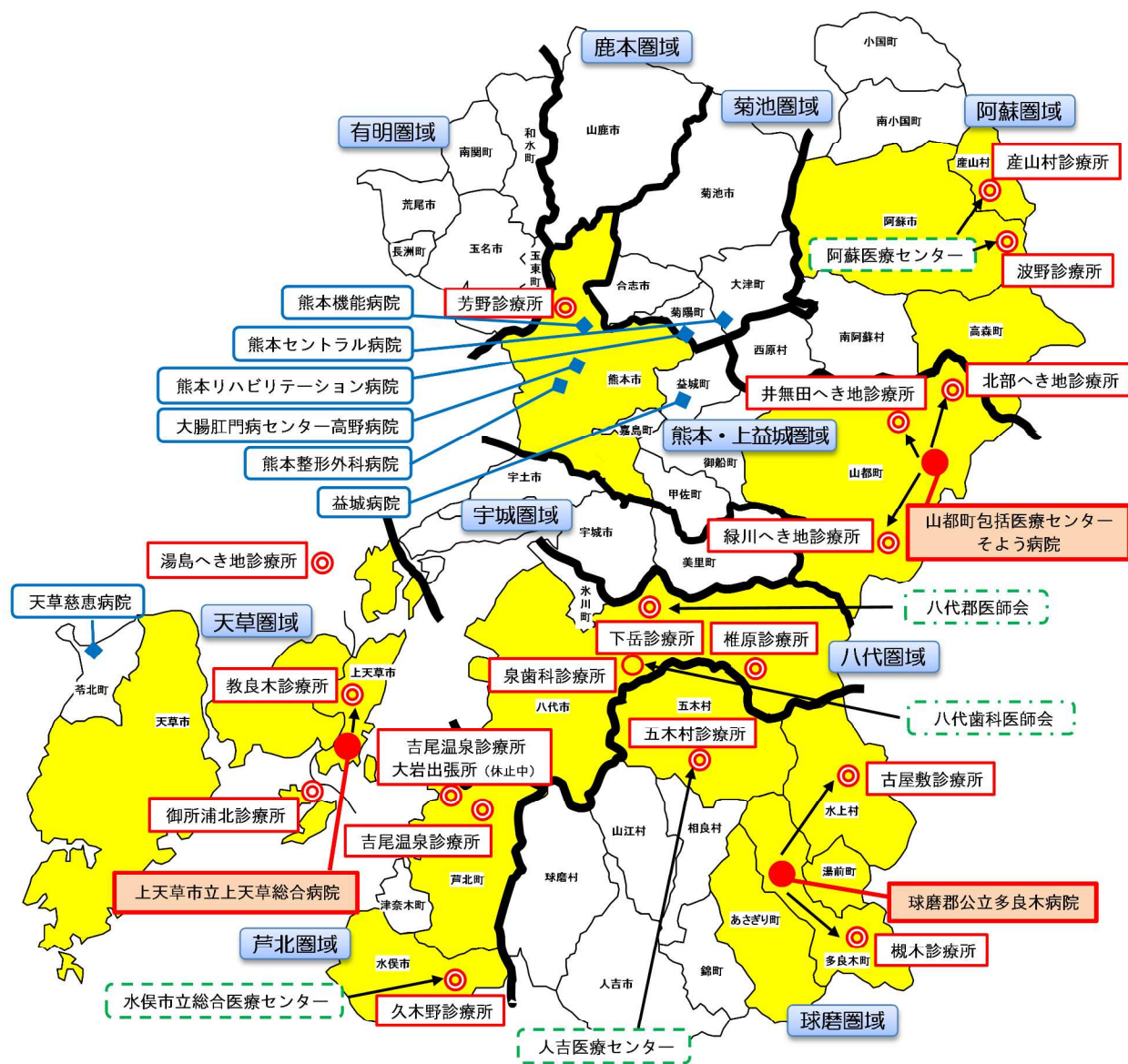
4. 評価指標

指標名	現状	目標	指標の説明・目標設定の考え方
ドクタープール制度における派遣元医療機関登録数	-	5 病院 (平成 35 年度)	医師数や診療科等が充実している大学病院、基幹型臨床研修病院等の数を参考に設定。
へき地医療拠点病院の数	3 病院 (平成 29 年 12 月)	5 病院 (平成 35 年度)	へき地を有する地域のバランスやへき地診療所への医師派遣の実績等を踏まえ設定。
遠隔テレビ会議システムを導入した医療機関数	3 医療機関 (平成 29 年 3 月)	15 医療機関 (平成 35 年度)	平成 35 年度までに熊本大学総合診療専門研修プログラムにおける地域の全ての連携施設(公立等)に対してシステムを導入することを設定。

医師修学資金貸与制度とは、県内の地域医療を担う医師を確保するため、将来、医師が不足している地域の病院等に医師として勤務しようとする医学部生に対して修学資金を貸与する制度のことです。大学卒業後の一定期間、知事が指定する地域の病院等で勤務した場合は、修学資金の返還が全額免除されます。

地域医療・総合診療実践学寄附講座とは、県からの寄附(負担割合: 県 3/4、市町村 1/4)により熊本大学に開設され、地域医療に関する卒前からの継続的な教育、総合診療(専門)医の育成や地域の医療機関における診療支援に関連する研究を行う講座のことです。

5. へき地医療提供体制

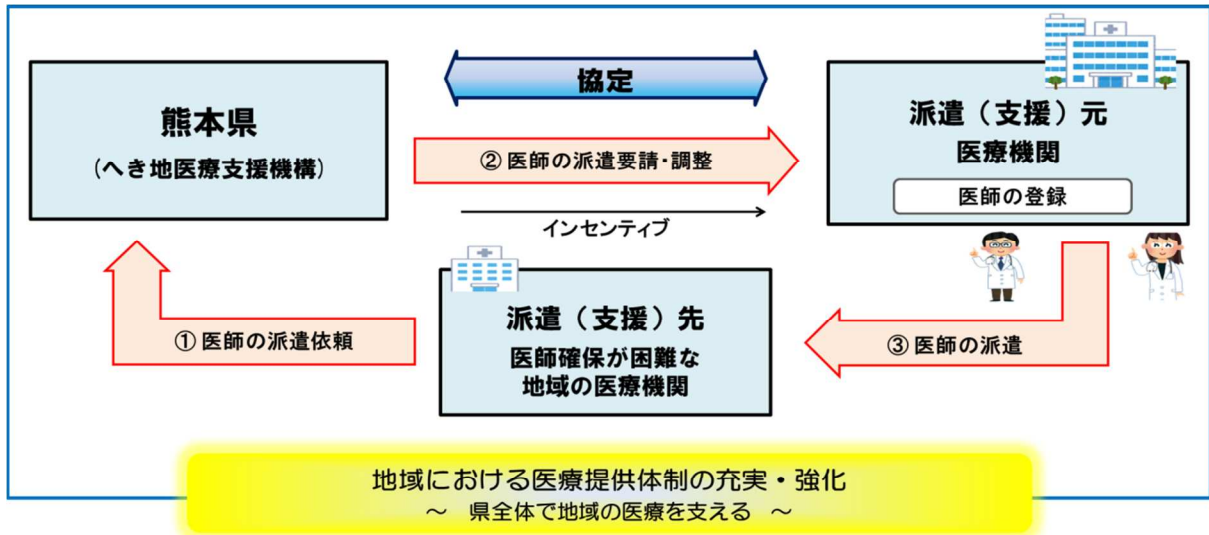


(平成29年12月1日現在)

- 着色している市町村は、へき地診療所・へき地歯科診療所又は無医地区・無歯科医地区を有するもの
- ◎ へき地診療所
- へき地歯科診療所
- へき地医療拠点病院
- ◆ へき地医療支援病院 ※

※ へき地医療支援病院とは、へき地医療支援機構の指導・調整の下、へき地診療所やへき地医療拠点病院に対する医師派遣又はへき地における巡回診療について一定の実績を有し、へき地医療を業務とする社会医療法人の認定を受けた病院、又は、認定を目指し、へき地医療の確保に関する事業の医療連携体制に係る医療提供施設として熊本県へき地保健医療対策に関する協議会において認められた病院。

【別図】ドクタープール制度のイメージ



【参考1】県内のへき地診療所及びへき地歯科診療所

1. へき地診療所

No	施設名	所在地	診療日1日平均 外来患者数(人) (平成28年度)
1	熊本市立熊本市民病院附属芳野診療所	熊本市西区河内町野出1410番地	11.9
2	産山村診療所	阿蘇郡産山村大字山鹿489番地5	25.0
3	阿蘇医療センター波野診療所	阿蘇市波野大字波野2703番地	21.1
4	北部へき地診療所	上益城郡山都町東竹原285番地1	13.3
5	緑川へき地診療所	上益城郡山都町緑川2015番地	9.3
6	井無田へき地診療所	上益城郡山都町井無田1294番地3	13.3
7	八代市立下岳診療所	八代市泉町下岳1562番地1	24.0
8	八代市立椎原診療所	八代市泉町椎原3番地16	11.0
9	国保水俣市立総合医療センター附属久木野診療所	水俣市久木野833番地	9.0
10	芦北町国民健康保険吉尾温泉診療所	葦北郡芦北町大字吉尾24番地4	8.9
11	芦北町国民健康保険吉尾温泉診療所大岩出張所	葦北郡芦北町大字大岩2614番地	7.1
12	槻木診療所	球磨郡多良木町大字槻木芭蕉の本8	5.3
13	古屋敷診療所	球磨郡水上村大字江代1658番地1	2.0
14	五木村診療所	球磨郡五木村甲2672番地11	34.0
15	上天草市立湯島へき地診療所	上天草市大矢野町湯島655番地	20.0
16	教良木診療所	上天草市松島町教良木2948番地1	17.3
17	国民健康保険天草市立御所浦北診療所	天草市御所浦町横浦750番地13	23.0

2. へき地歯科診療所

No	施設名	所在地	診療日1日平均 外来患者数(人) (平成28年度)
1	八代市立泉歯科診療所	八代市泉町柿迫3188番地2	0.6

【参考2】県内のへき地医療拠点病院

No	施設名	所在地	病床数	医師数(人)			1日平均 入院患者数 (人) (平成28年度)	1日平均 外来患者数 (人) (平成28年度)	指定年月日
				常勤	非常勤 (常勤換算)	計			
1	山都町包括医療センターそよう病院	上益城郡山都町滝上476番地2	57	4.00	2.54	6.54	43.3	145.8	平成15年4月1日
2	球磨郡公立多良木病院	球磨郡多良木町大字多良木4210	199	16.00	5.60	21.60	136.0	342.3	平成15年4月1日
3	上天草市立上天草総合病院	天草市龍ヶ岳町高戸1419番地19	195	9.00	4.49	13.49	164.0	488.0	平成15年4月1日

熊本県医療政策課調査(平成29年7月1日現在)

第7次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧（へき地の医療）

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	定義	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用	
					調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次医療圏ごと												
								数値	全国順位	熊本	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨			天草
へき地医療	S		へき地診療所数	へき地診療所数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	1,082	19	22	1	0	0	0	0	3	3	3	3	3	3	3	施設
へき地医療	S		へき地診療所病床数	へき地診療所病床数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	1,483	10	21	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	床
へき地診療	S		へき地における歯科診療所数	へき地歯科診療所数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	55	2	8	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	施設
へき地診療	S		過疎地域等特定診療所数	過疎地域等に開設する眼科、耳鼻いんこう科又は歯科の診療所数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	84	2	9	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	施設
へき地診療	S		へき地診療所の常勤医師数	へき地診療所の常勤医師数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	655	3	41	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	人
へき地診療	S		へき地診療所の非常勤医師数	へき地診療所の非常勤医師数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	1,188	46	9	1	0	0	0	19	3	1	7	8	7	7	7	人
へき地診療	S		へき地における医師以外の常勤歯科医師数	へき地における医師以外の常勤歯科医師数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	40	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人
へき地診療	S		へき地における医師以外の非常勤歯科医師数	へき地における医師以外の非常勤歯科医師数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	18	2	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	人
へき地診療	S		へき地における医師以外の常勤看護師数	へき地における医師以外の常勤看護師数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	1,775	12	36	0	0	0	0	4	0	2	0	1	5	5	5	人
へき地診療	S		へき地における医師以外の非常勤看護師数	へき地における医師以外の非常勤看護師数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	993	27	13	2	0	0	0	1	3	3	5	10	3	3	3	人
へき地診療	S		へき地における医師以外の常勤薬剤師等数	へき地における医師以外の常勤薬剤師等数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	873	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人
へき地診療	S		へき地における医師以外の非常勤薬剤師等数	へき地における医師以外の非常勤薬剤師等数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	344	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人

第7次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧（へき地の医療）

病期・医療機能	S P O	重点●	指標名	定義	調査の詳細		データ														単位	評価指標として使用	
					調査名	調査年 (調査周期)	全国	熊本県		二次医療圏ごと													
								数値	全国順位	熊本	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨	天草			
へき地支援医療	S		へき地医療拠点病院数	へき地医療拠点病院数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	313	3	35	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	施設	○	
へき地支援医療	S		へき地医療に関して一定の実績を有するものとして認定を受けた社会医療法人医療機関数	へき地医療に関して一定の実績を有するものとして認定を受けた社会医療法人医療機関数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	138	4	11	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	施設		
行政機関等の支援	S		へき地医療支援機構の数	へき地医療支援機構を設置している都道府県の数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	40	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	都道府県		
行政機関等の支援	S		へき地医療支援機構の専任・併任担当官数	へき地医療支援機構の専任・併任担当官数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	42	1	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人		
行政機関等の支援	S		へき地医療に従事すること条件とした地域枠医師数	へき地医療に従事することを条件とした地域枠医師数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	450	8	14	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	人		
へき地診療	P	●	へき地における巡回診療(歯科を含む)の実施日数	へき地における巡回診療の実施日数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	2,350	47	12	0	0	0	0	0	0	0	0	47	0	0	日		
へき地診療	P	●	へき地における訪問診療(歯科を含む)の実施日数	へき地における訪問診療(歯科を含む)の実施日数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	48,281	279	25	0	0	0	0	93	39	0	86	37	24	日			
へき地診療	P	●	へき地における訪問看護の実施日数	へき地における訪問看護の実施日数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	37,737	575	8	0	0	0	0	62	463	0	0	50	0	日			
へき地診療	P	●	へき地保健指導所の保健活動日数	へき地保健指導所の保健活動日数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	5,951	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	日		
へき地診療	P	●	へき地保健指導所の保健活動対象者数	へき地保健指導所の保健活動対象者数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	24,418	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人		
へき地支援医療	P	●	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療実施回数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	5,236	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	回		
へき地支援医療	P	●	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療延べ日数	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療延べ日数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	3,999	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	日		

第7次熊本県保健医療計画 現状把握のための指標一覧（へき地の医療）

病期・医療機能	SPO	重点●	指標名	定義	調査の詳細		データ													単位	評価指標として使用			
					調査名	調査年(調査周期)	全国	熊本県		二次医療圏ごと														
								数値	全国順位	熊本	宇城	有明	鹿本	菊池	阿蘇	上益城	八代	芦北	球磨			天草		
へき地支援医療	P	●	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療延べ受診患者数	へき地医療拠点病院からへき地への巡回診療延べ受診患者数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	26,170	0	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人	
へき地支援医療	P	●	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣実施回数	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣実施回数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	15,661	293	17	0	0	0	0	0	0	122	0	0	132	39		回		
へき地支援医療	P	●	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣延べ日数	へき地医療拠点病院からへき地への医師派遣延べ日数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	13,278	147	19	0	0	0	0	0	61	0	0	66	20		日			
へき地支援医療	P	●	へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣実施回数	へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣実施回数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	4,222	3	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		回		
へき地支援医療	P	●	へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣延べ派遣日数	へき地医療拠点病院からへき地への代診医派遣延べ派遣日数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	4,146	3	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0		日		
へき地支援医療	P	●	遠隔医療等ICTを活用した診療支援の実施状況	遠隔医療等ICTを活用した診療支援を実施している医療機関数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	174	8	8	0	0	0	0	0	2	3	0	0	1	2		施設		
行政機関等の支援	P	●	協議会の開催回数	協議会の開催回数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	68	3	7	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	回	
行政機関等の支援	P	●	協議会等におけるへき地の医療従事者確保の検討回数	協議会等におけるへき地の医療従事者確保の検討回数	へき地医療現況調査	平成28年度(毎年)	44	3	2	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	回	